

# 中国中央電視台の 環境問題関連の番組

白 木 通

---

## キーワード

|         |  |
|---------|--|
| 中国環境問題  | The environmental problems of China    |
| 長江水質汚染  | The water contaminations of Changjiang |
| 中国中央電視台 | China Central Television               |
| 《焦点訪談》  | 《Focus Report》                         |

## はじめに

長江の流域面積は水資源利用可能な国土面積の54%を占め、流域のGDPも全中国の54%を占めている。この長江流域で今何が起きているか。

2004年8月全国人民人口資源環境委員会と中国發展研究院が共同で行った「長江保護万里行」の調査研究報告はつぎのような数字を明らかにしている。「工業廃水、生活廃水、農薬、化学肥料の90%が未処理のまま長江に排出され、その汚水全体は年平均256億トンに達する」「長江本流の60%の水

質は汚染され、沿岸の 500 余都市の飲料水に危険が及んでいる」「長江上流の森林の被覆率はかつて最高 60～70%であったが、現在 4～7%になり、結果毎年流入する土砂は 24 億トンに達する」「1985 年川底に生息する動物が 126 種観測されたが 2002 年は 52 種であった」等など……。そしてこのまま放置すれば長江の生態系の寿命は 10 年しかないと結論づけている。<sup>1)</sup>

4 月に開かれた第一回中国環境と発展フォーラムにおいて国家環境保護総局局長の報告があった。その一部を以下に引用する。<sup>2)</sup>

「環境汚染と生態系破壊により巨大な経済的損失が発生している。世界銀行の見積によれば、1995 年、中国の空気と水の汚染による損失は同年の GDP の 8%に相当する。2003 年の環境汚染と生態系破壊による損失は GDP の 15%を占める。環境保護総局の 2001 年の生態系状況調査では、西部 9 省区の生態系破壊による直接的な経済的損失は当該地域の GDP の 13%を占め、甘粛省と青海省の GDP の合計に匹敵する」「農村の 3 億人は飲用に不適格な水を飲んでいる」「15 年後にわが国の人口は 14.6 億人に達し、経済規模は 4 倍になる。現在の資源消耗と汚染規制の水準では汚染の負荷は 5～6 倍になる」「もし断固たる処置をとり、産業構造の転換をはかり、経済成長の方式を変えなければ、自然資源を保持することは出来ない」

筆者は中国中央電視台(CCTV)の報道番組で、まず沙漠化による砂嵐の被害に、次に淮河流域の水汚染による健康被害に、今は長江流域の自然破壊に驚いている。番組は地方の問題を扱っており、局部的ではあるが、映像は現象を直接的な形で示し、そのかぎりでの信憑性は高い。人間も含めた自然の傷つく姿は痛切である。傷つける側の人間の顔もみえる。専門的知識を持ち合わせない筆者は一市民として驚き、不安を感じるばかりで、確かな分析や評価は出来ない。しかし、いくつかの文献資料の内容と照らし合わせて考えると、先に引用した中国環境保護総局の危機的な認識におそらく間違いはないであろう。一地球市民、また日本人として心に留めざるを得ない。

以下、2005 年 1 月から 6 月までに放送された中国中央テレビ局の報道番組《焦点訪談》から長江関連のものを中心に紹介する。<sup>3)</sup>

## ＜資料＞

### —長江関連—

#### 「滇池南岸の山を削ったのは誰か」（焦点訪談 2005/01/21）

雲南省昆明近くに、高原にあるものとしては中国で最大級の湖、滇池があり、ほとりは雲南省の保護林となっている。ところが南岸には燐の鉱山がある。晋寧県二街郷では大規模な鉱山開発を行っている。山は禿山となり、燐を多く含んだ土砂が滇池に流れこみ重大な汚染を引き起こしている。さらに 2004 年には土石流が発生し、30 戸あまりの家屋が倒壊し、十数人が負傷した。土石流の原因となった鉱山は閉鎖されたが、別の場所で新たに開発された。

県林業局は記者に対し、1998 年の地図を示し、ここは保護林ではなく、現地の郷政府に許認可権があるという。しかし、省の林業局で確認したところ 2001 年に新しい線引きがなされ、以前のものは無効であることがわかった。

#### 「秦嶺山脈中部での違法な金採掘」（焦点訪談 2005/01/27）

陝西省寧強県丁家嶺は長江中上流域の土砂流失防止のための自然保護地域の中にある。谷間に小屋がけした人びとが山腹から掘り出した金鉱石を水銀によって精錬している。水銀を含んだ泥水がそのまま谷川に流され、長江支流嘉陵江に排出される。採掘者によれば、年 2 万元を収めれば役所が必要な手続きをしてくれ、合法的に採掘・精錬をしているのだと言う。法律では保護地域での採掘は許されていないし、水銀を使った精錬も禁止されている。

同県環境保護局は「外部の企業・投資を誘致するという大局的判断によって法律の適用、執行を控えている」という。丁家嶺の南は広元市管轄である。ここでは精錬用具を破砕し、坑道をコンクリート壁でふさいでいた。<sup>4)</sup>

#### 「発展を促し、優れた政策により、壮大な展望をひらく」（焦点訪談 2005/03/04）長江流域重大な生態系破壊 全国政治協商会議のメンバーが調査 調査結果の概括的紹介（番組の一部）

#### 「金沙江での金鉱乱採掘」（焦点訪談 2005/03/16）

長江本流は上流では金沙江とよばれ、名前の通り金の鉱脈がある。雲南省麗江市内の金沙江では 100 隻あまりの大型金採掘船が河底を掘り下げている。

船は特に拉白鎮から奉柯鎮の約 70km の区間に集中している。船は 40 万元で製造でき、一日の収益は多くて十数万元、少なくとも 8, 9 千元あるという。船は河底を掘り下げ、土砂を選別した後、河に戻す。その結果山が崩れ、十数軒の村人が移住を余儀なくされた。

この金鉱は国家の所有管理に属し、しかも国家の生態系保護地区内である。彼らは違法な採掘者だが、現地の有力者に許可を得ているのだという。現地の村民によれば、採掘者は銃を携帯し、撃たれて負傷した村人もいる。村民が役所に訴えても「規制できない」という返事が返ってくるだけで、船は増えるばかりである。記者が現地麗江市の関連する役所部門を取材したが、やはり、それぞれ「規制できない」という。金採掘者の一人が漏らした情報によれば、多くの政府役人が投資をしており、公安局の幹部も自らの船を持っていると言うのだ。（後に省レベルの役所が処置をしたと報道された）

#### 「わずかな利益のため長江沿岸保護林を破壊」(焦点訪談 2005/05/15)

重慶市江北区五宝鎮は長江中上流の岸に面している。この森林から毎日四、五百トンの石が交通の便のよいコンクリート工場に原料として供給されている。発破の音が鳴り響き長江に土砂が崩れこむ。ここは国家の自然保護区で、まわりはうっそうと繁った森なのにここだけ異様な姿となっている。

この採石場の経営は鎮政府の委託によるものだが、責任者は鎮經濟事務処の主任であり、鎮經濟事務処は採石場にある。鎮はここから年間数万元の収入を得ているが、植生回復のためにすでに 90 万元近く支出している。重慶市江北区政府は記者にたいして、「国家の自然保護区外の、河岸から離れた場所の開発は許可したが、沿岸は許可しなかった。違法行為には断固たる態度で対処する」と言った。ところが、記者がここを離れる時、長江の今度は南岸から発破の音が響いてきた。<sup>5)</sup>

#### —その他の地域に関するもの—

「違法なプロジェクトに停止命令」(焦点訪談 2005/01/19) 内蒙古のチュンガル大飯鋪発電所 環境アセスメント抜きで建設をはじめた。<sup>6)</sup>

「森を破壊し陵墓を建設」(焦点訪談 2005/03/30) 黒龍江省鉄力市林業局が

国家の「貧困扶助資金」を流用。自然林を破壊し「皇龍陵墓公園」建設、分譲のため、着工。記者に対して二度も買収工作をする。

「規制できないショベルカー」(焦点訪談 2005/04/13) 河北省遷西県 村の書記が鉄鉦山を乱開発。山肌がけずられ土砂が流失。記者が脅迫された。

「円明園公聴会」(焦点訪談 2005/04/14) 北京の円明園。池を掘りシートで漏水防止。 政府環境総局停止命令。公聴会を開く。

「森林公園の中のゴルフ場」(焦点訪談 2005/05/17) 黄河流域 山西省太原市 環境アセスメントをせず、その他の必要な手続きもなく開発、市の森林管理局と林業局がここから利益を得ている。

「誰が熱帯雨林を破壊しているか」(焦点訪談 2005/06/07) 紅河上流雲南省江城県林業局が子会社を作り経営している。自ら期間と制限量を大幅に越えた伐採をしている。しかも利用しない樹木も一様に伐採し生態系に重大な影響を与えている。

「ある一家と 7000ha の砂漠」(焦点訪談 2005/06/17) 赤峰市カルメイ砂漠。流動砂丘の緑化を請負い、15 年かけて 65%緑化したモンゴル族の一家。<sup>7)</sup>

## 注

- 1) 「我国水汚染現状調査: 3.6 億人難尋安全飲用水」《南京周末》2005/04/06

関連重要事項: 04 年 6 月 24 日、国家審計署(会計検査院)は長江堤防護岸工事の検査結果、水面下に沈めた石を実際より 20.4%多く計上し、護岸の石を実際より厚く計上し、不合格率は 50%以上にのぼる、と公表した。(新華ネット)

- 2) 《人民日報》2005 年 4 月 23 日 水に関する部分をさらにいくつか引用する。「90%以上の天然林が退化し、毎年牧草地の 200 万 ha が退化している」「北方の河川の水資源利用が国際生態系警戒線(30~40%)をこえ、流域の生態系の機能は極端に失われた。華北平原には地下水位低下による世界で最も大きな漏斗が出現した」

「主要な汚染物質の排出総量が環境の自浄能力を超えている。河川の、都市を流

れている部分の 90%は重大な汚染を受けている。75%の湖沼に富栄養化が現れている。沿岸の赤潮の発生数は 1980 年代の 4 倍となっている」「酸性雨の影響は国土面積の 1/3 に及び、近年更に汚染が強まっている」

- 3) 「行政に対するジャーナリズムの監督機能」を果たすことを標榜している番組。視聴者からの情報をもとに、取材し番組を編成する。これは中央政府が問題を取り上げ、解決をめざしたというに等しい意味を持ち、現にこの種の問題の 80%は解決されるという。特に重大な問題は、事後報告がなされる。行政への監督的役割の番組が 47%を占めていた頃、視聴率は 30%近くにまで達していたという。この種の番組の占める割合が様々な障害で 17%に落ちたころは、視聴率も 8%ほどに落ちたという。2004 年温家宝首相が政府活動報告で『政府はジャーナリズム・世論と社会・公衆の監督を受ける』とのべたのをうけて監督的内容のものを将来 50%までひきあげる目標をたてたという。記者の身の安全を守るためにも隠密取材、隠し撮りを増やす必要があるともいう。（《焦点訪談》ホームページ）
- 4) 広元市では汚水により水俣病に似た症状の病人が出た。（中国情報局 2004/12）
- 5) 7 月以後の番組として「皖江行」《焦点訪談》05/07/03(安徽省内の 8 都市の環境との調和をはかった開発の例を紹介した番組)「漢水上流で污水处理ショー」《焦点訪談》05/08/02(陝西省の長江支流漢水上流での製薬工場の污水排出)など。尚、他の番組枠のもので、04 年 11 月放送された長江の浮遊ごみ処理体制の危機的状态をレポートしたものがある。
- 6) 2005 年 1 月 18 日国家環境保護局は総額 1179 億 4000 万元に上る 30 の巨大プロジェクト（三峡開発総会社の発電所やダム開発も含む）への停止命令を公表。環境アセスメントなく、国家環境保護総局の許可なしで着工し、再三の警告を無視したからだ。これもそのひとつである。ところが一ヶ月後の 2 月 19 日には罰金を払った 26 のプロジェクトが許可を得た。（各紙・経緯は『争鳴』2005 年 4 月号）
- 7) 7 月以後の番組「屋根崩落事故の背後」《焦点訪談》05/07/12(内蒙古新豊熱電公司 国家の許可なく施工。死者 6 名)「清河への三つの疑問」《焦点訪談》05/07/14(黒龍江省林業区での多角的農業経営による森林保護)「スキー場の代償」《焦点訪談》05/07/30(北京で 14 番目のスキー場を建設中。人工降雪により大量の水を使う。水の再使用が出来ない施設である。